

SRフェンス部材構造図

◆SRフェンスとは

道路沿いに簡単に設置できる落石防護柵 ⇔ 用地買収が不用

山間地の道路では、落石や土砂の流出が確認されると、その度に道路維持工事等によって除去されています。落石等の大半は、30cm角未満の小規模なもので、運動エネルギーに換算すると5kJ程度以下になります。

SRフェンスは、このような落石等に対応する防護柵です。道路斜面の法尻に、二次製品のコンクリートブロックを並べて、その連結部に差し込んだ支柱にワイヤロープとネットを設置する構造で、運動エネルギー6kJレベル以下の落石を受け止めることが可能です。



御船町役場



球磨村役場

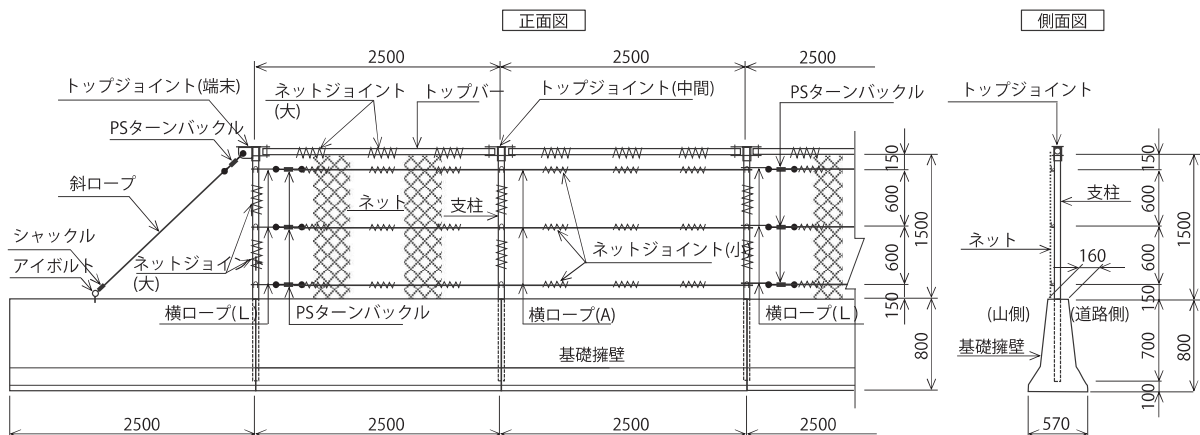


水俣市役所

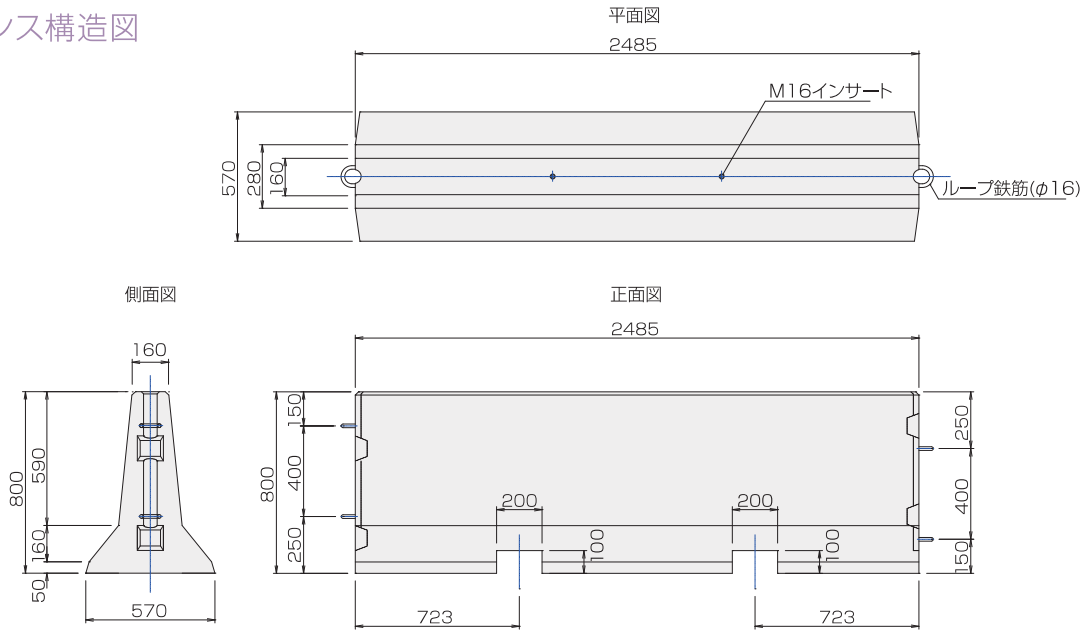


球磨村役場

◆標準構造図



◆SRフェンス構造図



◆施工歩掛

基礎擁壁設置工

100m当たり

名称	単位	数量	摘要
世話役	人	2.0	
特殊作業員	人	2.0	
普通作業員	人	4.0	
諸経費	式	1.0	
トラッククレーン賃料	日	2.0	4.9t吊り
諸経費	%	4	

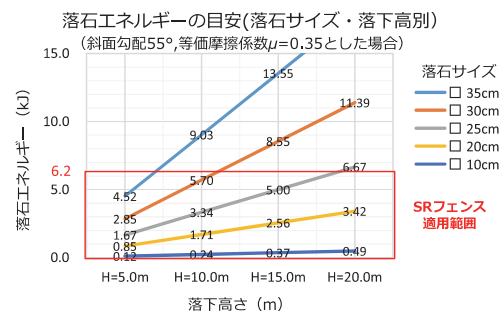
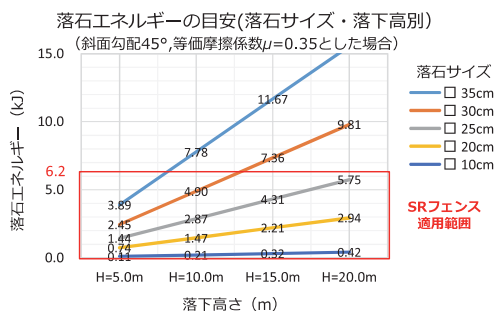
防護柵設置工

100m当たり

名称	単位	数量	適用
世話役	人	4.0	
普通作業員	人	8.0	
諸経費	%	5	

◆適用条件

運動エネルギー6.2kJ以下の落石を受け止めることができます



◆性能試験

性能検証の実験は、工場内の天井クレーンを利用して振り子方式で行いました。高さ5mの位置から、質量42kgのコンクリート多面体の重錘をSRフェンスに計3回繰り返し衝突させて挙動を観測しました。その結果、支柱や阻止面の変形などにより6.2kJのエネルギー吸収性能があることを確認しております。



重錘衝突前



重錘衝突後の最大変形



振り子式実験装置